

2014年1月5日 主日礼拝

《誕生祝福式》

司 会 ①篠藤兄 ②上田兄 ③土屋英兄

奏 楽

祈 禱 ①三畑兄 ②川田兄

賛 美 聖歌584番「新しき地にふみいだす」  
(主の山に備えあり) (み前に行きひざまずき)

十 戒

聖 書 ① ヘブル人への手紙10章35～11章1節 (P354)  
②③ ヨハネによる福音書14章12～16節 (P165)

音 楽 ① 北島美佐子姉  
②③ 西田美榮子姉 & 宮田四郎兄

証 詞 ① 川口真理子姉

メッセージ ① 「変化と変質の違い」 坪井永城副牧師  
②③ 「I will do it !」 大川従道牧師

賛 美 「明日はどんな日か」 (献金・東京伝道の為)

頌 栄 「主の祈り」

祝 禱

「何事でもわたしの名によって願うならば、  
わたしはそれをかなえてあげよう。」

(ヨハネ十四の十四)

### 【大和ニュース】

☆明けましておめでとうございます。主の祝福をお祈りいたします。

・ 本日、入門講座 I、ICA 袴援会、手話、ヨシユア会、バルナバ会、J.plus あり。

\* 来週は「成人式記念礼拝」記念品あり。ご友人もどうぞ。

・ 今週も祈禱会はスペシャル。本年最初の聖餐式。説教も大切なことを語ります。

水曜夜7時半と木曜朝10時半。最大の努力をもって出席しましょう。

・ 準備祈禱会は、金曜夜9時～10時半。説教は丸藤補教師。祈り込みます。

・ T. P. アワーは、今年から「主を慕い求める祈り会」といたします。土曜夕方6時～7時。

## 石の枕

開けておめでとうございます！

クリスマスのメッセージで、3人の博士たちが「宝の箱を開けて」ということが語られた。その点からして、「明けてもよいが「開けても面白い。自分の宝を捧げる信仰、空っぽになった箱には、倍返し「100倍を受けぬはなし」(マルコ10の30)。今年には不思議がいっぱい起こる！

すごい本だ。どの頁にも恵みがあふれている。《一生感謝・365日》(ジョン・クワン著、1800円+税) 今日1月18日の分を紹介する。

昔、隣り合わせの2つの村があった。一つの村は「感謝村」と言い、もう一つは「不平村」と言った。不平村の人たちは1年中、何についても不平と不満ばかり言っていた。春は黄砂でほごりが多いと不平を言い、夏は暑くて蚊が多いと文句を言い、秋には落ち葉が多いと不平を言い、冬には雪がたくさん降って寒いと不満を言っていた。

一方、感謝村に住む人たちは、反対にどんなことにでも感謝した。苦労しても感謝し、試練に遭っても感謝した。春には花の香りに感謝し、夏には涼しい木陰を感謝し、秋には食べごろに熟れた実を感謝し、冬には木の枝に白く積もる雪の花を見て感謝した。

不平が習慣であるように、感謝も習慣である。不平を言う人は、常に不平を言う。否定的な人の目には、バラのとげしか見えない。反対に、感謝村での人生は、生涯感謝である。そのような人は、人格そのものが感謝である。感謝の目を持っているため、見るものすべてが感謝の条件になるのである。

年末3人の方々に、1週間内で新約聖書を読破するようにチャレンジした。

聖書はコツコツ読むもよし、いっぺんに読み通すもよし。ともかく「むさぼるように読む！」ことは大切である。「熱心でうむことなく」(ロマ12の11)は、霊に燃えて主に仕えることだが、聖書を読むことにも熱心でありたい。

勿論、今祈りに燃えている聖徒が多い。ベテランも、ベビークリスチャンも、心熱く日々を過してほしい。ともかく、今年注がれる上からの恵みは半端でないことは確かだ。聖書が自由に読めることは、最高の感謝のひとつでもある!!

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース:マタイ5章～9章 Bコース:創世記12章～28章